

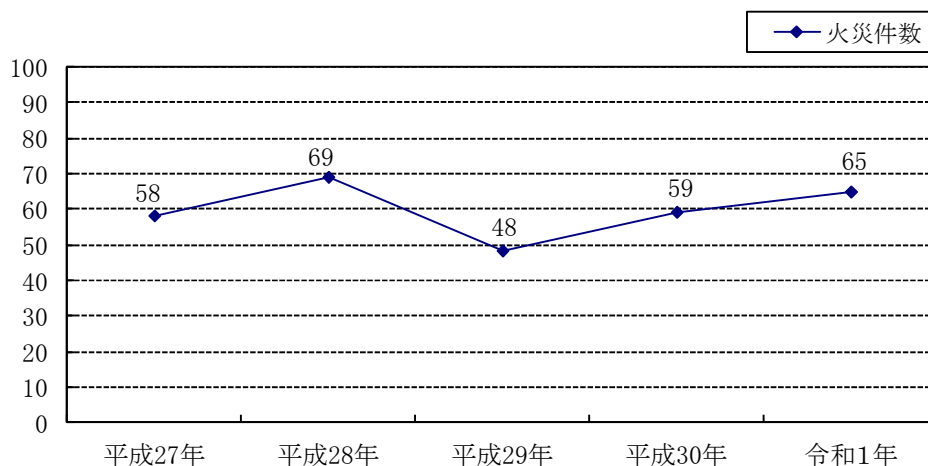
I 火災概況

(2019年 1月～6月)

1 火災件数について

2019年上半期の火災件数は65件で、前年上半期と比較して6件(10%)増加しています。(図I-1参照)

図I-1 火災件数の推移



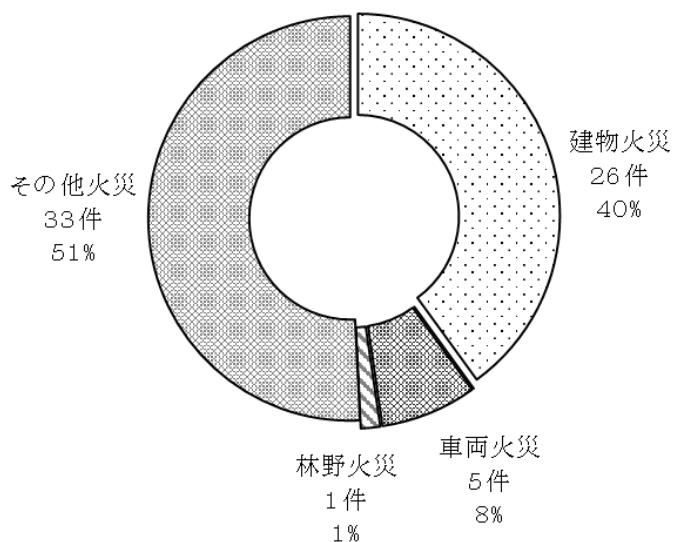
年 別	27年	28年	29年	30年	元年
火災件数	58件	69件	48件	59件	65件

2 火災種別件数について

種別の構成比率をみますと、その他火災(枯れ草火災など)が33件(51%)と最も多く、次いで、建物火災が26件(40%)、車両火災5件(8%)、林野火災1件(1%)となっています。

前年に比べ建物火災は8件、林野火災は1件少なくなっており、車両火災は4件、その他火災は11件多くなっています。(図I-2参照)

図I-2 火災種別ごと件数の状況

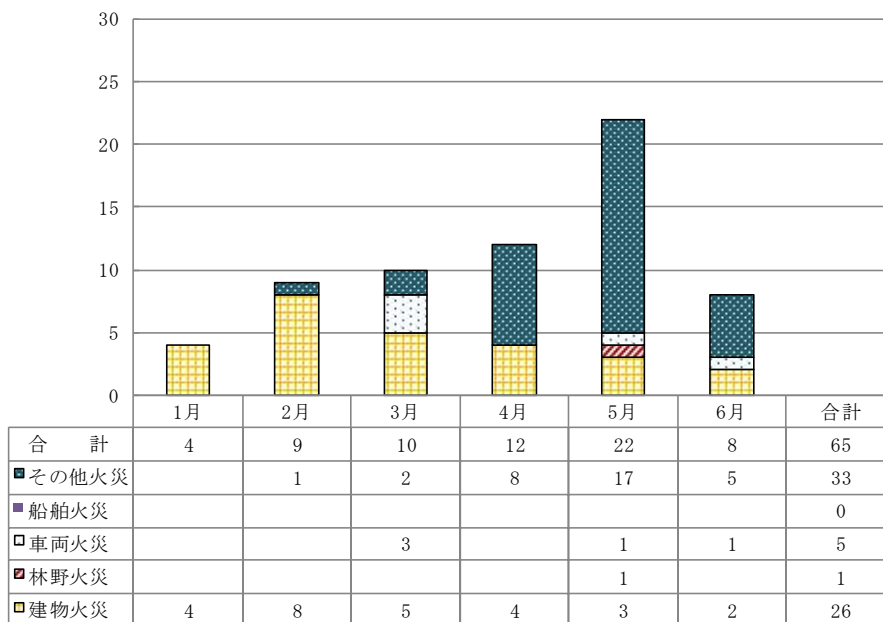


3 月別火災件数について

月別の火災件数をみますと、5月が22件（34%）で最も多く、次いで4月が12件（18%）、3月が10件（15%）となっています。

火災種別ごとの月別の建物火災の状況は、2月が最も多く8件（31%）、次いで3月が5件（19%）、1月と4月に各4件（各15%）発生しています。その他火災については、5月に17件（52%）と最も多く発生しています。（図I-3参照）

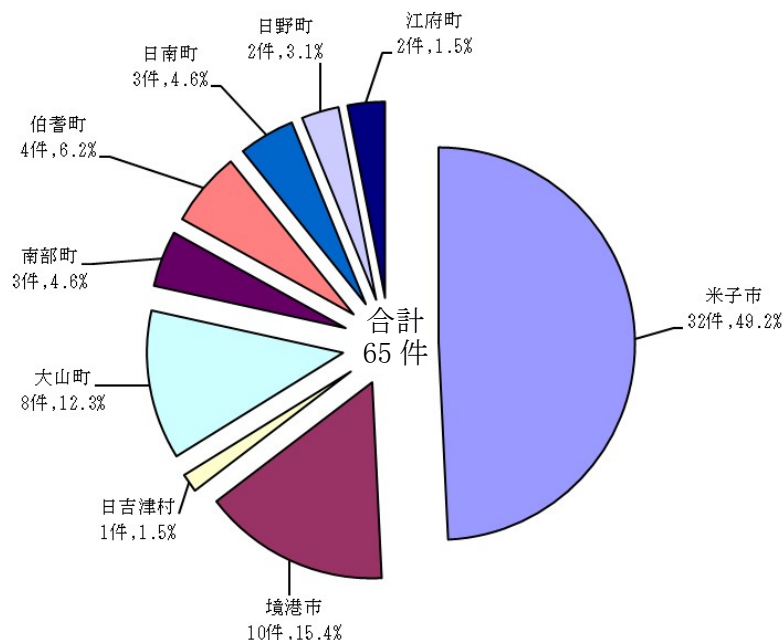
図 I - 3 月別の火災件数



4 市町村別火災件数について

市町村別の火災件数をみますと、米子市が32件、次いで境港市が10件、大山町が8件となっています。（図I-4参照）

図 I - 4 市町村別火災件数の状況



5 損害額について

損害額は、約5,958万円で、前年比30%の減少となっています。

火災種別ごとの損害額は、建物火災が全体の95%を占めています。

月別の損害額は、3月(約2,083万円)が最も多く全体の35%となっています。次いで1月(約1,412万円)の24%となっています。

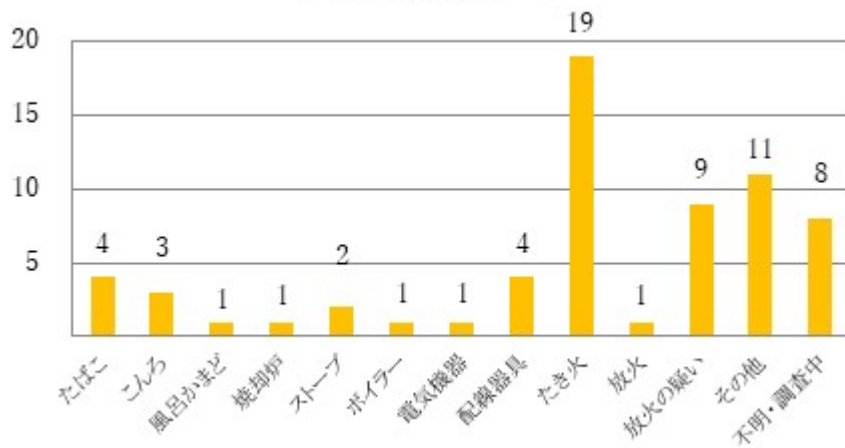
(別表I参照)

6 火災の原因について

原因別では「たき火」が19件(29%)、「その他」11件(17%)、「放火の疑い」9件(14%)となっています。

(図I-5参照)

図I-5 出火原因別グラフ



7 死者・負傷者について

死者は2人発生し、負傷者は前年より1人減少し8人となっています。

(図I-6参照)

図I-6 市町村別死傷者状況



